

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 自治医科大
理事長 香山 充

自治医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 19 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	152 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	651人	47.4人	698.4人	看護業務補助	11人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	22人	1.9人	23.9人	理学療法士	14人	臨床検査技師	112人
薬剤師	55人	0人	55人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	2人	0人	2人	視能訓練士	7人	その他	3人
助産師	51人	0人	51人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	991人	46人	1025.3人	臨床工学技士	16人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	7人	1人	8人	歯科技工士	1人	事務職員	81人
管理栄養士	11人	0人	11人	診療放射線技師	63人	その他の職員	10人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	919人	14人	933人
1日当たり平均外来患者数	2,635人	130人	2,765人
1日当たり平均調剤数	2,552 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	<input checked="" type="radio"/> 有・無	26人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	21人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	9人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	1人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	0人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

眼底三次元画像解析	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	394人
実物大臓器立体モデルによる手術計画	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	2人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	88人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	29人
・多発性硬化症	69人	・ウェゲナー肉芽腫症	5人
・重症筋無力症	115人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	34人
・全身性エリテマトーデス	385人	・多系統萎縮症	38人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	63人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	140人	・広範脊柱管狭窄症	30人
・筋萎縮性側索硬化症	45人	・原発性胆汁性肝硬変	28人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	206人	・重症急性膵炎	11人
・特発性血小板減少性紫斑病	136人	・特発性大腿骨頭壊死症	54人
・結節性動脈周囲炎	37人	・混合性結合組織病	64人
・潰瘍性大腸炎	199人	・原発性免疫不全症候群	6人
・大動脈炎症候群	45人	・特発性間質性肺炎	14人
・ビュルガー病	29人	・網膜色素変性症	28人
・天疱瘡	29人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	97人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	104人	・神経線維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	269人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	68人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	7人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	3回/月		
剖検の状況	剖検症例数	68 例	剖検率 9.4 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月まで]

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助又は委託先
厚生労働科学研究費補助金創薬基盤推進研究事業「パーキンソン病遺伝子治療臨床研究における安全性評価と positron emission tomography (PET) による有効性の評価」	中野今治	神経内科	53,861 万円 (班全体)	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「神経変性疾患に関する研究」	中野今治	〃	120 万円	補 委 厚生労働省
厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療法に関する研究」	中野今治	〃	180 万円	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」	中野今治	〃	70 万円	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究」	中野今治	〃	70 万円	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「スモンに関する調査研究」	中野今治	〃	70 万円	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究」	中野今治	〃	60 万円	補 委 厚生労働省
厚生労働科学研究（医療技術実用化総合研究事業：治験推進研究）研究事業「治験の実施に関する研究：酢酸リュープロリレン」	中野今治	〃	370 万円	補 委 (社) 日本医師会 治験促進センタ ー
科学技術振興調整費「科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 生体内分子を可視化するナノセンサ分子開発」	村松慎一	〃	130 万円	補 委 (独) 科学技術 振興機構
基盤研究 (C) 新規アデノ随伴ウイルスベクターを応用した神経変性疾患の病態解析	村松慎一	〃	150 万円	補 委 文部科学省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「運動失調症に関する研究」	瀧山嘉久	〃	250 万円	補 委 厚生労働省
基盤研究 (C) Spastin の機能解析と治療戦略	瀧山嘉久	〃	160 万円	補 委 文部科学省

計 12

(注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、一つの研究において研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助もと又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脂肪細胞内lipolysisの分子機構	石橋 俊	内分泌代謝学部門	4,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
遺伝子改変技術を用いた新しいコレステロール機能の解明	石橋 俊	内分泌代謝学部門	4,810,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金
膵β細胞脂肪毒性解除による新規2型糖尿病治療法の開発	石橋 俊	内分泌代謝学部門	1,000,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金
安定同位体グルコース負荷試験による包括的糖代謝解析	長坂昌一郎	内分泌代謝学部門	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金
マクロファージにおけるリポ蛋白リパーゼが動脈硬化形成に及ぼす影響について	野牛 宏晃	内分泌代謝学部門	1,040,000	補 委 日本学術振興会科学研究費補助金
原発性高脂血症に関する調査研究	石橋 俊	内分泌代謝学部門	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期予後改善のための前向き研究	石橋 俊	内分泌代謝学部門	700,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
高齢者糖尿病に対する総合診療体制確立のための総合的研究—無作為化比較研究を中心に	石橋 俊	内分泌代謝学部門	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費補助金
コレステロールアシル転移酵素アイソザイムACAT2選択的阻害剤の開発	石橋 俊	内分泌代謝学部門	15,000,000	補 委 独立行政法人医薬基盤研究所
				補 委

計 9

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なるものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastrointestinal Endoscopy 66(3):57-59, 2007	New indications of double balloon endoscopy	Kita H Yamamoto H	光学医療センター
Nature Clinical Practice Gastroenterology & Hepatology	Technology Insight: endoscopic submucosal dissection of gastrointestinal neoplasms	Yamamoto H	光学医療センター
Gastrointest Endosc 66(3):34-38, 2007	Clinical importance of the location of lesions in terms of mesenteric or antimesenteric side of the small intestine	Sunada K Yamamoto H	光学医療センター
日本消化器内視鏡学会雑誌 49(12):3002-3008, 2007	手技の解説、大腸用ダブルバルーン内視鏡による挿入法	山本博徳	光学医療センター
J Gastroenterol 42:719-729, 2007.	Homeobox protein CDX2 reduces Cox-2 transcription by inactivating the DNA-binding capacity of nuclear factor-kappaB	Mutoh H	消化器内科学
Annual Review 消化管 中外医学社, 東京, 1-7, 2008	消化器疾患と転写因子	武藤弘行	消化器内科学
分子消化器病 4, 152-154, 2007	シグナル伝達イメージング (可視化)	武藤弘行	消化器内科学
J Gastroenterol and Hepatol 22: 729-737, 2007	Novel interleukin-4 and interleukin-1 receptor antagonist gene variations associated with non-cardia gastric cancer in Japan: Comprehensive analysis of 207 polymorphisms of 11 cytokine genes	Seno H Sugano K	消化器内科学
J Gastroenterol 42 (Suppl. XVII): 1-2, 2007	Prevention of gastric cancer: urgent need to implement Helicobacter pylori eradication therapy as a primary preventive measure in Japan	Sugano K	消化器内科学
J Cell Physiol 216:38-46, 2008	Indian hedgehog promotes the migration of rat activated pancreatic stellate cells by increasing membrane Type-1 matrix metalloproteinase on the plasma membrane	Shinozaki S Sugano K	消化器内科学
J Clin Gastroenterol 42:23-28, 2008	Reduced expression of sulfatides and galactosylceramide 3'-sulfotransferase in the gastric mucosa of chronic gastritis	Osawa H Sugano K	消化器内科学
J Gastroenterol Hepatol 23:351-365, 2008	Nick Telley, Paul Moayyedi, Sugano K et al: Asia-Pacific consensus guidelines on gastric cancer prevention	Kwong Ming Fock Sugano K	消化器内科学

計 12

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を入力すること。

(様式第 11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表の実績 [平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月まで]

雑誌名	題名	研究者名	所属部門
J Neurol Sci 255: 87-89, 2007.	An unusual case of a spasticity-lacking phenotype with a novel <i>SACS</i> mutation.	Shimazaki H, 他	神経内科
Acta Neurol Scand 116: 340-344, 2007.	Constant blood flow reduction in premotor frontal lobe regions in ALS with dementia—a SPECT study with 3D-SSP.	Ishikawa T, 他	神経内科
J Neurosci Res, 85(8):1752-1761,2007.	Activated microglia affect the nigro-striatal dopamine neurons differently in neonatal and aged mice treated with 1-methyl-4-phenyl-1,2,3,6-tetrahydropyridine.	Sawada H, 他	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry 78: 324-325, 2007. (March2007, Vol.78)	Reversible limbic encephalitis with antibodies against the membranes of neurons of the hippocampus.	Shimazaki H, 他	神経内科
Archives of Iranian Medicine 11(4): 459-462, 2008.	A large family with spinocerebellar ataxia type 6 in Iran: A Clinical and Genetic study.	Shimazaki H, 他	神経内科
BRAIN and NERVE 59(1):79-92, 2007.	痙性歩行発症 14 年後に認知症症状を合併した全経過 27 年の 89 歳女性例.	吉村まどか, 他	神経内科
日本小児科学会雑誌 111 (1) : 60-64, 2007.	中枢神経症状を伴った X 連鎖劣性重症乳児型ミオチューブラーミオパチー.	疋田敏之, 他	神経内科
臨床神経学 47(5) : 211-216, 2007.	新しい SOD1 遺伝子変異をみとめた家族性筋萎縮性側索硬化症 (FALS) の症例: 剖検結果をふまえて.	河又千鶴, 他	神経内科
BRAIN and NERVE 59 (11): 1305-1313, 2007.	大脳皮質に特異な MRI 所見を認めた adult T cell leukemia/lymphoma(ATLL)の 1 例.	江島泰志, 他	神経内科

計 9

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価の資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	研究者氏名	所属部門
Jpn. J. Antibiot 60 (5): 315-316	血液疾患に併発した感染症治療報告 症例1. 透析導入された急性骨髄性白血病患者に対する抗真菌剤の検討	外島正樹	血液学部門
Cancer Sci. 98: 1949-1958	Active FKHRL1 overcomes imatinib resistance in chronic myelogenous leukemia-derived cell lines via the production of tumor necrosis factor-related apoptosis-inducing ligand.	Kikuchi, S., et al	血液学部門
Exp. Hematol. 35: 1358-1365	Cloning and characterization of a human BCR/ABL-positive cell line, K562/RR, resistant to the farnesyltransferase inhibition by tipifarnib.	Nagai, T., et al.	血液学部門
Blood 109: 228-234	Nitric oxide plays a critical role in suppression of T-cell proliferation by mesenchymal stem cells	Sato, K., et al	血液学部門
Biochem. Biophys. Res. Commun. 355: 956-962	Interferon-gamma and NF-kappaB mediate nitric oxide production by mesenchymal stromal cells.	Oh, I., et al.	血液学部門
Leuk. Lymphoma 48: 978-986	Transforming activity of purinergic receptor P2Y ₁ G protein coupled, 8 revealed by retroviral expression screening.	Fujiwara, S-I, et al	血液学部門
Eur. J. Haematol. 78: 487-494	Retrospective nationwide survey of Japanese patients with transfusion-dependent MDS and aplastic anemia highlights the negative impact of iron overload on morbidity/mortality.	Takatoku, M., et al.	血液学部門
Hypertension 50: 531-536, 2007	Adeno-associated virus-mediated prostacyclin synthase expression prevents pulmonary arterial hypertension in rats.	Ito, T., et al.	遺伝子治療研究部 血液学部門
Circ. Res. 101: 734-741	Interleukin-10 expression mediated by an adeno-associated virus vector prevents monocrotaline-induced pulmonary arterial hypertension in rats.	Ito, T., et al.	遺伝子治療研究部 血液学部門
Int. J. Mol. Med. 19: 75-79	Prevention of diabetic retinopathy by intraocular soluble Flt-1 gene transfer in a spontaneously diabetic rat model.	Ideno, J., et al.	遺伝子治療研究部 血液学部門

計 10

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetes 56:24-33	Involvement of apolipoprotein E in excess fat accumulation and insulin resistance.	Gao, J., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Int. J. Mol. Med. 19:75-79	Prevention of diabetic retinopathy by intraocular soluble flt-1 gene transfer in a spontaneously diabetic rat model.	Ideno, J., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Hypertens. Res. 30:375-376	The vascular renin-angiotensin system as a possible source of vascular inflammation in fructose-fed rats.	Ishibashi, S.	内分泌代謝学部門
Am. J. Physiol-Endocrinol. Metab. 292:E408-	The LDL receptor is not necessary for acute adrenal steroidogenesis in mouse adrenocortical cells.	Kraemer, F. B., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Diabetes Metab. 33: 81-82	Soluble vascular cell adhesion molecule-1 is independently associated with soluble tumor necrosis factor receptor 2 in Japanese type 2 diabetic patients.	Nabeya, D., Nagasaka, S., et al	内分泌代謝学部門
Methods Inf. Med. 46:222-226	Long-range correlated glucose fluctuations in diabetes.	Ogata, H., Nagasaka, S., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Metabolism 56: 571-577	Soluble tumor necrosis factor receptor 2 is independently associated with pulse wave velocity in nonobese Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	Ohgushi, M., Nagasaka, S., et al	内分泌代謝学部門
J. Lipid Res. 48:1581-1591	Sterol regulatory element-binding protein (SREBP)-1-independent regulation of lipogenic gene expression in adipocytes.	Sekiya, M., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Diabetes Res. Clin. Pract. 75:14-26	Regulation of hormone-sensitive lipase in islets.	Shen, W. J., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Diabetes Res. Clin. Pract. 77(Suppl 1): S23-S29	Cross-sectional association between BMI, glycemic control and energy intake in Japanese patients with type 2 diabetes Analysis from the Japan Diabetes Complications Study.	Sone, H., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Metabolism 56: 1099-1103	Metabolic syndrome, insulin resistance, and atherosclerosis in Japanese type 2 diabetic patients.	Taniguchi, A., Nagasaka, S., et al	内分泌代謝学部門
EMBO Rep. 8:1155-1161	Ligand-independent activation of vascular endothelial growth factor receptor 1 by low-density lipoprotein.	Usui, R., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Diabetes Res. Clin. Pract. 75: 2-6	Leptin, triglycerides, and interleukin 6 are independently associated with C-reactive protein in Japanese type 2 diabetic patients.	Yanagawa, T., Nagasaka, S., et al	内分泌代謝学部門

計 13

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Rheumatol 33:1705-1706, 2006	Marked pneumatosis cystoids intestinalis in a patient with mixed connective tissue disease.	青木葉子	アレルギー膠原病学
Circulation 114:10-11, 2006	Images in cardiovascular medicine. Kimura's disease presenting as steroid-responsive thromboangiitis obliterans.	長嶋孝夫	アレルギー膠原病学
Arthritis Rheum 54:312-324, 2006	Accuracy of anti-ribosomal P protein antibody testing for the diagnosis of neuropsychiatric systemic lupus erythematosus: An international meta-analysis.	吉尾 卓	アレルギー膠原病学
Rheumatology 46:882-884, 2007	Local Implantation of autologous mononuclear cells from bone marrow and peripheral blood for treatment of Ischaemic digits In patients with connective tissue diseases.	釜田康行	アレルギー膠原病学
Arthritis Rheum 56(8):2813-2814, 2007	Antibodies to bovine serum albumin do not affect the results of enzyme-linked immunosorbent assays for IgG anti-NR2 glutamate receptor antibodies.	吉尾 卓	アレルギー膠原病学
Arthritis Res Ther 9:R44, 2007	Association of cerebrospinal fluid anti-ribosomal P protein antibodies with diffuse psychiatric/neuropsychological syndromes in systemic lupus erythematosus.	吉尾 卓	アレルギー膠原病学
Lupus 16:901-903, 2007	Consecutive use of sildenafil and bosentan for the treatment of pulmonary arterial hypertension associated with collagen vascular disease : sildenafil as reliever and bosentan as controller.	釜田康行	アレルギー膠原病学
Modern Rheumatology 17(6):464-	Efficacy and safety of mizoribine for the treatment of Sjögren's syndrome: a multicenter open-label clinical trial.	簗田清次	アレルギー膠原病学
順天堂医学52: 103-110, 2007	離島の精神科医療と精神障害者支援の状況：65離島を対象としたアンケート調査からみえてきたもの。	吉尾 卓	アレルギー膠原病学
順天堂大学医療 看護学部医療看護 研究2:95-101,	離島に勤務する保健師 による活動の方向性：三宅島の精神保健福祉活動と家族の状況。	吉尾 卓	アレルギー膠原病学

計 10

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
精神経誌 109:693-702	器質力動論の現在—しなやかな病態把握と治療に向けて—	加藤 敏	精神医学
日本外来臨床精神 医学 5:109-121	不安・焦燥の病態と治療—うつ病を中心に	加藤 敏	精神医学
栃木精神医学 27:21-36	統合失調症初期段階における病態—裂開相/内閉相から—	加藤 敏	精神医学
病跡誌 74:20-30	PKD—SF作家の病跡	小林聡幸	精神医学
認知神経科学 9:214-218	NIRS臨床検査のためのヒント	菊地千一郎	精神医学
臨床精神病理 28:111-126	統合失調症の「顔貌随伴幻聴」	永嶋秀明	精神医学
集団精神療法 23:22-27	大学病院精神科におけるうつ病患者の病棟ミーティング	岡島美朗	精神医学
栃木精神医学 27:42-49	刃物を用いた自殺企図により入院した7事例—総合病院精神神経科の経験から—	恩田浩一	精神医学
精神経誌 109:215-227	長期透析経過中に現れた妄想性障害の一例—身体と語りの収奪と復権要求—	大塚公一郎	精神医学
精神経誌 109:438-450	離人感を伴う外傷体験反応である再犠牲化について—アタッチメント理論の立場から—	将田真弓	精神医学
栃木精神医学 27:50-55	大学病院精神科における高齢患者の入院長期化要因の検討	玉川倫帆	精神医学
Prog Brain Res 41:81-104	Neuroleptic malignant syndrome and serotonin syndrome	Nisijima, K.	精神医学
Psychiat Res. Neuroim 156:199-208	Prefrontal cerebral activity during a simple "rock, paper, scissors" task measured by the noninvasive near-infrared spectroscopy method	Kikuchi, S.	精神医学

計 13

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児保健研究 66 2007-66 92-96	小山市の保育園、幼稚園における与薬の実態調査	齋藤 貴志	小児科学
小児内科 39 2007-39 963-964	重症筋無力症に対するタクロリムス・シクロスポリン療法	後藤 珠子	小児科学
脳と発達 39 2007-4 300-303	Tacrolimusが有効であった難治性重症筋無力症の1小児例	後藤 珠子	小児科学
小児科臨床 60 2007-6 1127-1132	急激に広汎な白質壊死をきたしたLeigh症候群の1例	中村 幸恵	小児科学
小児科臨床 47 2007 109-114	広汎性発達障害児のWISC-III 下位検査項目プロフィール	塩川 宏郷	小児科学
JOURNAL of CARDIOLOGY 49 2007-5 221-229	リアルタイム3D心エコー図法による小児の左心容積 計量 左室造影法との比較	飯野 眞由	小児科学
Educational Research and Review 11 2007-2 292-295	Educational problems associated with abdominal ultrasonography for pediatricians in Japan	Ko Ichihashi	小児科学
小児科 48 2007 1359-1360	両大血管左室起始症	金井 孝裕	小児科学
小児科臨床 60 2007 1567-1570	Fluorescence In Situ Hybridization (FISH) 法で確定 診断が得られたモザイク型トリソミーの1例	伊東 岳峰	小児科学
J. Infect. Dis. 39 2007 1067-1081	A cas of meningoencephalitis associated with GIP [8] rotavirus infection in a Japanese child	Tamako Goto	小児科学
Pediatr Int. 49 2007 479-484	certain type of chronic lung disease of newborns is associated with Ueaplasma urealyticum infection in utero	Yukie Nakamura	小児科学

計 11

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本大腸肛門病学会雑誌60(6):347-353	器械吻合をループ式回腸ストーマ閉鎖術の標準術式としてよいか	堀江久永	消化器・一般外科
肝胆膵54(6):779-784	乳頭部腫瘍に対する低侵襲性治療の展開と問題点－外科側の見解	小泉 大	消化器・一般外科
Surgery FrontierSurgery Frontier13:376-380	【腫瘍マーカー 遺伝子・分子・蛋白マーカーの活用】膵癌の腫瘍マーカー	小泉 大	消化器・一般外科
日本臨床外科学会雑誌68(2):468-471	小腸腸間膜嚢胞性リンパ管腫の1例	森嶋 計	消化器・一般外科
手術61(10):1429-1434	膵臓の剥離と切離	佐田尚宏	消化器・一般外科
胆と膵28(7):501-504	【肝内結石症 最近の知見】診断と治療 5. 肝内結石症の新しい画像診断指針(案)	佐田尚宏	消化器・一般外科
手術61(6) 2007年度臨時増刊号:933-937	【最新 肝胆膵手術アトラス】III. 膵臓 15. 慢性膵炎に対するPartington手術・Frey手術	佐田尚宏	消化器・一般外科
臨床消化器内科22(7):983-989	肝内結石症と肝内胆管癌における慢性炎症の関与	佐田尚宏	消化器・一般外科
手術61(5):573-577	Duct oriented Pancreatectomy	佐田尚宏	消化器・一般外科
外科69(1):19-26	【3次元画像による手術支援】仮想内視鏡の開発と実用化 MD-CT (Multi detector-row CT) を用いた仮想胆道鏡・膵管鏡の有用性	佐田尚宏	消化器・一般外科
Int. J. Clin Oncol. 12(2):146-149	Doxifluridine combined with weekly paclitaxel for second-line treatment in patients with gastric cancer resistant to TS-1.	Arai, W.	消化器・一般外科
Dis Esophagus21(3):275-278	A new operative technique for resection of gastric-tube cancer by means of lifting the anterior chest wall and videoscope-assisted surgery.	Hosoya, Y.	消化器・一般外科
Dig. Surg. Dig. Surg. 24(3):169-172	Minimum leakage rate (0.5%) of stapled esophagojejunostomy with sacrifice of a small part of the jejunum after total gastrectomy in 390 consecutive patients	Hyodo, M.	消化器・一般外科
Hepato-Gastroenterology54(78):1854-1857	Gasless laparoscopy-assisted distal gastrectomy is feasible and useful for non-obese patients with early gastric cancer.	Hyodo, M.	消化器・一般外科
Case Rep Gastroenterology 1:103-109	Carcinoma arising from Brunner's gland in the duodenum after 17 years of observation - a case report and literature review.	Koizumi, M.	消化器・一般外科
Surgery Today37:806-810	Mucinous cystadenocarcinoma of the appendix invading the ascending colon with fistula formation: Report of a case.	Miyakura, Y.	消化器・一般外科

計 16

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertension Research 2007;30:151-159	Alterations in placental growth factor levels before and after the onset of preeclampsia are more pronounced in women with early onset severe preeclampsia.	Ohkuchi A	Obstetrics and Gynecology
Mol Cancer Ther 2008, 7:704-711	Overexpression of PTEN in ovarian cancer cells suppresses intraperitoneal dissemination and extends survival in mice.	Takei Y	Obstetrics and Gynecology
Int J Gynecol Cancer 2008, 18:165-167	Omental metastasis in clinical stage I endometrioid adenocarcinoma.	Fujiwara H	Obstetrics and Gynecology
Fertil Steril 2007, 88:1207-1211	Immunohistochemical study of osteopontin and L-selectin in a rat endometriosis model and in human endometriosis.	Odagiri K	Obstetrics and Gynecology
Fertil Steril 2007, Dec1 (Epub)	Oral eicosapentaenoic acid supplementation as possible therapy for endometriosis.	Netsu S	Obstetrics and Gynecology (大宮)
Am J Reprod Immunol 2007, 58 (4) :330-343	Gene expression profiling of the rat endometriosis model.	Konnno R	Obstetrics and Gynecology (大宮)
血管医学 2007, 8:19-27	妊娠高血圧腎症と可溶性Flt-1	大口 昭英	産科婦人科学

計 7

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限り)

2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表の実績 [平成19年4月～平成20年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
栃木歯医学会誌 59:53-56, 2007年9月	下顎埋伏智歯抜歯後の有害事象の検討	中山竜司	歯科口腔 外科学
栃木歯医学会誌 61-63, 2007年9月	口底部に発生した比較的大きな神経鞘腫の1例	佐瀬美和子	歯科口腔 外科学
栃木歯医学会誌 59:69-71, 2007年9月	口腔内に生じた転移性肝細胞癌の2例	高橋淳	歯科口腔 外科学
栃木歯医学会誌 59:65-68, 2007年9月	当科における薬剤性歯肉増殖症患者についての臨床的検討	寺内由佳	歯科口腔 外科学
栃木歯医学会誌 59:57-59, 2007年9月	顎下部ガス産生性蜂窩織炎の1例	山中学	歯科口腔 外科学
口腔腫瘍 19(3):163-175, 2007年9月	アンケート調査よりみた舌扁平上皮癌治療の現状と問題点	前田顕之	歯科口腔 外科学
日口外誌 53(5):297-300, 2007年5月	G-CSF産生腫瘍と診断した上顎歯肉扁平上皮癌の1例	野口忠秀	歯科口腔 外科学
日口診誌 20(2):360-363, 2007年10月	下唇の麻痺を主訴とした下顎枝へのリンパ腫浸潤の1例	小尾友梨	歯科口腔 外科学
歯科放射線 47(1):38-39, 2007年8月	術前の超音波検査で頸動脈の内膜肥厚を認めた口腔癌の2例	篠崎泰久	歯科口腔 外科学
自治医科大学紀要 30:67-72, 2007年12月	埋伏永久歯に対する小矯正治療 (Minor tooth movement) の有用性	篠崎泰久	歯科口腔 外科学
栃木歯医学会誌 59:85-87, 2007年9月	癌再発後の抑うつ状態が増悪し口腔癌治療に苦慮した1例	土屋欣之	歯科口腔 外科学
栃木歯医学会誌 59:89-93, 2007年9月	口腔外科小手術における静脈内鎮静法の有効性の検討	福島聡	歯科口腔 外科学
歯科放射線 47(1):36-37, 2007年8月	上顎骨前歯部の歯根嚢胞を疑ったLangerhans cell histiocytosisの1例	上野泰宏	歯科口腔 外科学
日口外誌 53(8):486-489, 2007年10月	口角部硬性下疳を伴った梅毒性頸部リンパ節炎の2例	上野泰宏	歯科口腔 外科学
日口診誌 20(2):364-366, 2007年10月	口腔扁平苔癬から17年後に悪性化したと考えた扁平上皮癌の1例	山下雅子	歯科口腔 外科学
日口外誌 54(3):169-172, 2008年3月	上下顎骨に多発した単純性骨嚢胞の1例	池田 薫	歯科口腔 外科学

計 16

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること (当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 島田 和幸
管理担当者氏名	病院事務部長 内田 光俊

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病歴室及びそれぞれの部署にて電子管理	患者ごとの患者受診登録番号による
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
	高度の医療の研修の実績	経営管理課	
	閲覧実績	経営管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営管理課及び薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	人事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	人事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	人事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	経営管理課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全対策部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全対策部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	用度課及び臨床工学部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全対策部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 島田 和幸
閲覧担当者氏名	病院事務部長 内田 光俊
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	61.7 %	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	24,368 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	21,838 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,417 人	
	D：初診の患者の数	55,337 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (10) 名 ・ 活動の主な内容： 職員研修及び講演会の企画・運営 事例の情報収集・分析・検討 医療安全対策委員会・リスクマネージャー会議の開催 医療事故発生時の対応	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 基本理念 医療安全対策委員会、院内組織に関すること 重大事故発生時の対応	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： インシデント・アクシデントレポートの報告状況 事例報告・検討	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 23 回
・ 研修の主な内容： 輸液・シリンジポンプ研修 中心静脈カテーテル挿入認定研修 研修医研修	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 事例検討会 院内巡視 勉強会 リスクマネージャー会議や講演会での事例報告・対応策の周知	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 総則 院内感染対策に関連する委員会に関する基本的事項 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告とその対応に関する基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> シーズンにあわせた感染症発生状況報告や事前対策の検討 感染対策上必要な医薬品の採用のための意見交換 高度耐性菌発生状況報告と対策の検討 針刺し状況報告と職業感染防止の検討 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 62 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策部との合同の院内講演会 新入職者に対する感染管理の講義（職種別） I C T 巡視後フォローの部署への勉強会 委託業者に対する感染管理講義 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 臨床微生物検査室では、病原体分離及び存在の確認、分離細菌の薬物耐性パターンなどの解析を行っている。この疫学情報は、日常的に臨床側及び感染制御部へフィードバックされる。 感染制御部では、この情報を基に、微生物の分離率ならびに感染症の発生動向を注視する。また、主治医及び病棟、若しくは病院全体へ、適切な院内感染対策防止対策及び制圧策を指導し、相談している。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	① 有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>薬の処方及び麻薬取り扱い（対象：レジデント） 薬剤部の業務紹介とお願い（対象：新人看護師） 麻薬・向精神薬及び毒薬の取り扱いについて（対象：病棟看護師）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （ ① 有 ・ 無 ）</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>手順書の改定 チェックリストによる業務実施状況の調査（薬剤部・病棟）</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ ① 有 ・ 無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>ヘパリンフラッシュ自主回収に伴い、末梢のヘパリンロックを生食ロックへと変更した。 安全性情報等を紙媒体だけでなく、Web上でも閲覧可能とし、その充実を図った。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>人工呼吸器について（医師対象） 輸液シリンジポンプについて（看護師対象）</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 （有・無）</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>①人工心肺装置及び補助循環装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細動装置、 ⑤閉鎖式保育器、⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑦診療用放射線照射装置 上記7点について、保守点検計画を策定し、実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療安全対策部において、医療安全に係る情報を掲載した「あんぜん便り」という文書を作成している。これを各部署に配付することにより、医療機器の安全使用を目的とした改善策等についての情報を提供している。</p>	